



(サーティファイド ファイナンシャル プランナー®)



(アフィリエイティド ファイナンシャル プランナー)

# FP

CFP®・AFP認定者をめざすための

ファイナンシャル・プランナー

## ライセンスガイド

Financial Planner License Guide



特定非営利活動法人（NPO 法人）  
日本ファイナンシャル・プランナーズ協会



入会に関するお問い合わせは  
日本 FP 協会ホームページのお問い合わせページへ



〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 5F

URL: <https://www.jafp.or.jp/>

特に断りのない限り、掲載内容は2025年12月時点のものです。

情報が変更されている場合がありますので、最新の情報は日本 FP 協会ホームページにてご確認ください。

2512-40000

■ FP資格の種類 ▶ P.1

■ 信頼されるCFP®・AFP資格 ▶ P.2

■ CFP®・AFP 認定者になる魅力 ▶ P.3

■ 全国で活躍するCFP®・AFP認定者 ▶ P.4

■ FP資格フローチャート ▶ P.5

■ AFP認定研修 ▶ P.7

■ 2級FP技能検定・CFP®資格審査試験 ▶ P.9  
(AFP資格審査試験)

# FP 資格の種類

世界で信頼される  
プロフェッショナル資格  
**「CFP®資格」**

プロのFPへの  
スタートライン  
**「AFP資格」**



## ファイナンシャル・プランニング技能検定

ファイナンシャル・プランニング技能検定は、職業能力開発促進法に基づく技能検定制度の一つで、国家検定です。日本FP協会は、厚生労働大臣から「ファイナンシャル・プランニング」の職種について指定試験機関の指定を受け、「ファイナンシャル・プランニング(FP)技能検定」を実施しています。



# 信頼される CFP®・ AFP 資格

## 確かな知識と経験に裏打ちされた、日本FP協会認定の「CFP®資格」「 AFP 資格」

日本FP協会では、4E(教育 Education、試験 Examination、経験 Experience、倫理 Ethics)を資格認定の柱とし、「FP実務の6ステップ」をFP実務の指針としています。

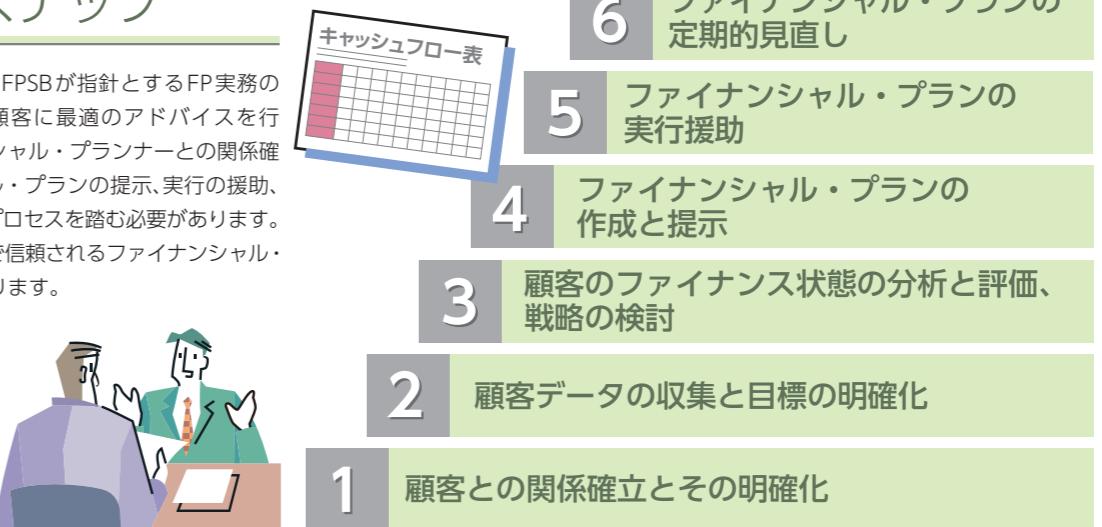
そのため CFP® 資格、 AFP 資格ともに、2年ごとに資格の更新を必要とし、2年間で所定の研修等を受講することで継続的な知識・能力の維持向上を図っています。また、顧客のプライバシーに関わる情報や一生に関わるプランや問題を扱うため、協会会員に高い職業倫理を求めています。

## 4つのE

4E	Education	教育	所定のFP教育カリキュラムを修了することが資格認定の基本条件。 ライセンスの維持・更新には「継続教育」による所定の単位取得が必要。
	Examination	試験	教育要件を満たすとともに、学んだ内容を実際に活用できるかの能力を評価。 実務遂行に必要なレベルに達しているかを試験で判断。
	Experience	経験	FPとして実務を遂行するには経験が必要。 CFP®認定者になるには試験に合格するとともにCFP®エントリー研修の修了と実務経験が必要。
	Ethics	倫理	日本FP協会が定める「会員倫理規程」等の諸規程の順守について同意が必要。 個人情報を知り得るFPにとっては、専門的知識に加え、高い職業倫理が不可欠。

## FP実務の6ステップ

日本FP協会では国際CFP®組織FPSBが指針とするFP実務の6ステップを採用しています。顧客に最適のアドバイスを行うためには、顧客とファイナンシャル・プランナーとの関係確立から始まり、ファイナンシャル・プランの提示、実行の援助、定期的な見直しまで定められたプロセスを踏む必要があります。FP実務の6ステップを踏むことで信頼されるファイナンシャル・プランニングの提案が可能になります。



# CFP®・AFP 認定者になる魅力

## ✓ FPに関する様々な情報が得られます

法改正などのFPに関する最新情報が、「FPジャーナル」、「Myページ」や「アプリ」から入手できます。

### ▶ 会報『FPジャーナル』 FPに必要な情報を届け(スマホやPCで閲覧できるFP Journal Onlineも提供)

- FP実務に役立つ最新情報や相談事例など
- FP6分野の最新情報などを学べる「FP誌上講座」(継続教育テストに対応)



### ▶ 会員ホームページ『Myページ』 最新のFP情報をいち早くキャッチ! 各種手続きもオンラインでできます。

- FP実務に役立つタイムリーなコラムやデータベース
- 継続教育テストの受験、各種セミナーの検索・申込
- 取得した継続教育単位の申請・確認、資格更新手続きや登録情報の照会・各種手続き
- ライセンスカード(会員証)の表示



### ▶ 日本FP協会アプリ FP実務や暮らしに役立つコンテンツが盛りだくさん

- FP Journal OnlineやMyページのコラムの閲覧
- 継続教育単位の申請や各種手続き
- プッシュ通知で更新情報やイベント・セミナーの最新情報をキャッチ

## ✓ 教育・学習の機会が得られます

日々変化する法令・制度などの改正や経済環境に対応できるよう多種多様な教育・学習の機会があります。

※受講費用は原則有料です。

※2年ごとの資格更新に必要な受講費用 AFP認定者: 5,000円程度~、CFP®認定者: 10,000円程度~

- FPジャーナル継続教育テスト
- FP実務と倫理テスト
- 認定教育機関主催研修
- プロック・支部主催継続教育研修会



## ✓ 人脈づくり、ネットワークづくりができます

FP同士の情報交換、専門家との交流など人脈形成やネットワークを広げることができます。

### ▶ 支部活動 全国50支部での地域特性に応じたFP普及活動・FP同士の情報交換やネットワーク構築

- 生活者向けのセミナー・相談会の開催
- 支部主催の継続教育研修会で知識の維持・向上を図る



### ▶ スタディ・グループ(SG) SGに参加してさまざまな職種や専門家との人脈づくり

- 様々な職種の有志が集い、継続的かつ定期的に勉強会を開催するグループ
- スキルアップとともに、幅広い人脈づくりにも役立つ



### ▶ FPフェア 全国の会員が参加できる、協会最大級のイベント

- 著名なエコノミストや各分野の専門家からFPに関する知識や最新情報を学べる講演会
- FP実務家によるトークセッション
- 会員同士のネットワークづくりに役立つ会員交流会



# 全国で活躍する CFP®・AFP 認定者



27,510名



156,320名

資格認定者合計 183,830名

(2025年5月現在)

北海道ブロック

道北・道東・道央・道南

CFP®認定者……537名  
AFP認定者……3,887名

北陸ブロック

富山・石川・福井

CFP®認定者……442名  
AFP認定者……2,901名

東北ブロック

青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島

CFP®認定者……753名  
AFP認定者……5,928名

関東ブロック

茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・  
東京・神奈川・山梨・長野・新潟

CFP®認定者……15,830名  
AFP認定者……80,394名

東海ブロック

静岡・愛知・岐阜・三重

CFP®認定者……2,291名  
AFP認定者……15,834名

中国・四国ブロック

鳥取・島根・岡山・広島・山口・  
香川・徳島・愛媛・高知

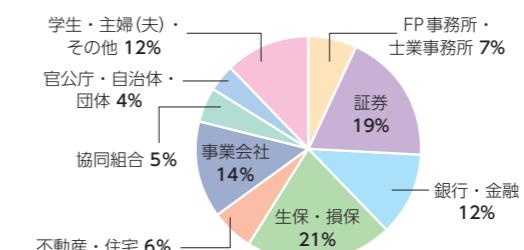
CFP®認定者……1,129名  
AFP認定者……9,092名

九州ブロック

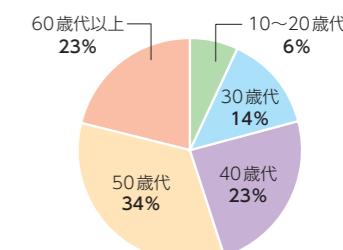
福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・  
宮崎・鹿児島・沖縄

CFP®認定者……1,249名  
AFP認定者……10,331名

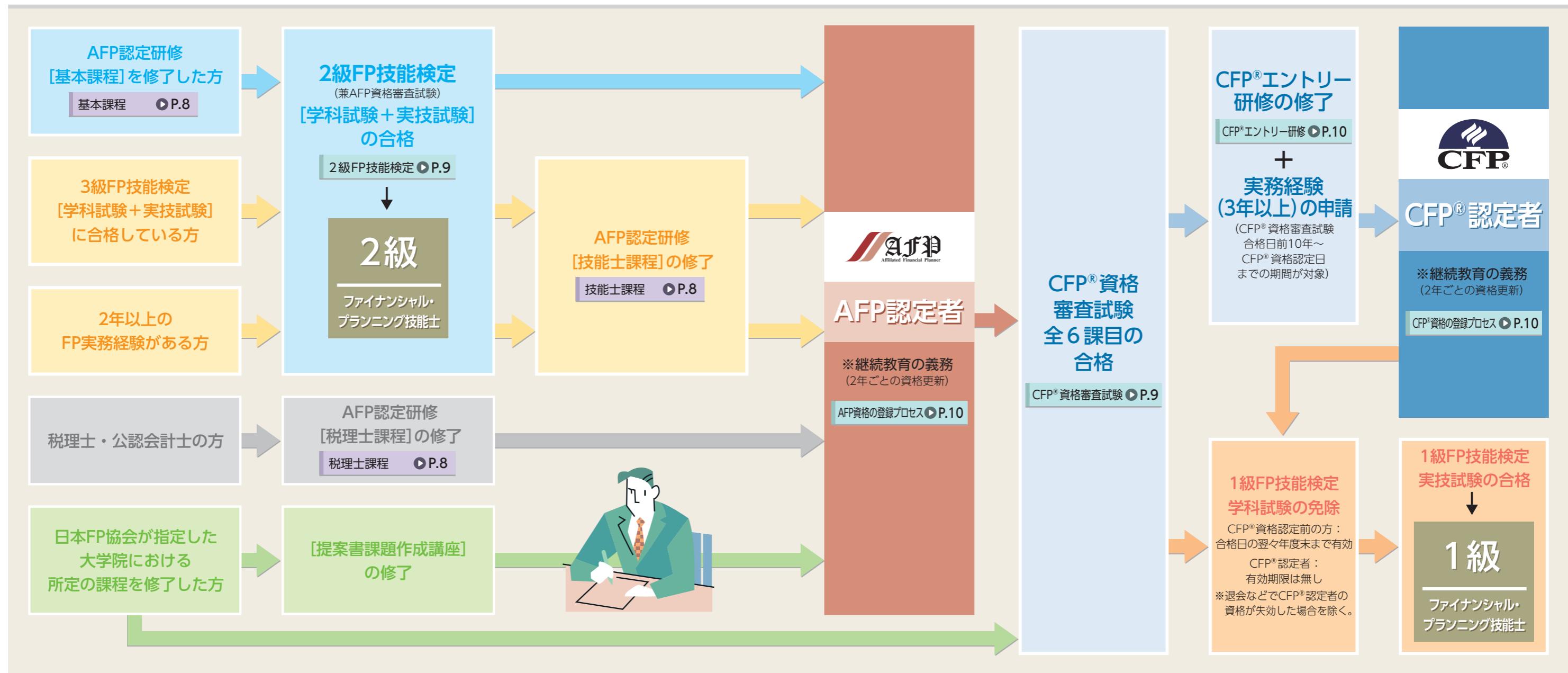
業種別属性  
(CFP®認定者・AFP認定者)



年代別属性  
(CFP®認定者・AFP認定者)



# FP 資格フローチャート



# AFP認定研修

## AFP認定研修とは

AFP認定研修とは、ファイナンシャル・プランニングに必要な倫理・コンプライアンスとライフプランや、金融、保険など6つの専門分野にわたる知識を体系的に学習できるように構成された日本FP協会認定の研修講座です。この研修での学習内容は、日本FP協会がFPに必要な教育水準をまとめた「FP学習ガイド」に基づいており、日本FP協会が認定した教育機関（以下、認定教育機関）が実施しています。

「AFP認定研修」を修了し2級FP技能検定に合格すると、所定の手続きを経て AFP認定者として登録することができます。

## 受講内容

研修は学習場所や時間を選ばない通信研修が中心で、DVD、インターネットなど様々な学習媒体・形態から自分にあった講座を選ぶことができます。すべての研修では学習の総仕上げとして、課題に基づいた「提案書」（ファイナンシャル・プラン）を作成します。



### AFP認定研修検索

認定教育機関や開講講座については、日本FP協会のホームページで確認できます。  
「トップページ」→「FP資格取得を目指す」→「 AFP認定研修検索」



### 学習期間

学習期間（目安）  
集合研修：約1ヶ月～3ヶ月程度  
通信研修：約1ヶ月～6ヶ月程度  
※受講開始から最長でも1年内に修了しなければなりません。

### 修了要件

全学習分野を履修し、指定された課題に基づく提案書を作成・提出します。提出した提案書が一定水準以上の点数を得ることにより修了となります。

### 提案書作成に関する注意事項

● AFP認定研修の修了は、 AFP認定者として一定の知識とスキルを有していることの裏付けとなるものであり、 AFP資格の信用と信頼の根幹を成すものです。  
その修了要件である「提案書の作成」は、当然に本人自身が作成することが前提であり、この提案書が不正な手段により作成されたものであることが発覚した場合には、 AFP認定者としての登録を認めない又は登録を取り消すことがありますので、ご注意ください。

## 基本課程 »» ●一般の方（3級FP技能検定に合格していない方など）

### 講座の特徴

3級FP技能検定に合格していない方、または実務経験が2年以上ない方でも「 AFP認定研修（基本課程）」を修了することで、2級FP技能検定の受検資格を得られます。また、2級FP技能検定の試験対策としてもご利用いただけます。  
受講料：20,000円程度～



## 技能士課程 »» ●1級または2級FP技能検定に合格している方

### 講座の特徴

1級または2級FP技能検定に合格している方を対象としています。  
受講料：9,000円程度～

※1級または2級FP技能検定に合格していない場合、「技能士課程」を受講し修了しても AFP認定研修の修了になりませんのでご注意ください。



## 税理士課程 »» ●日本税理士会連合会に登録している方 ●日本公認会計士協会に登録している方

### 講座の特徴

特例措置として、「タックスプランニング」「相続・事業承継設計」の2科目が免除されます。  
税理士課程の講座を修了することにより、 AFP資格の登録権利が付与されます。  
受講料：40,000円程度～  
必要書類：「税理士証票」「公認会計士登録証明書」の写し  
※「FP技能士」の取得を希望の場合は、別途「FP技能検定」を受験し合格する必要があります。



### 受講者情報の登録

講座の受講にあたっては、氏名、性別、生年月日などの個人情報を、受講する認定教育機関経由で日本FP協会に登録していただきます。

また、当該講座の修了状況（修了年月日・合格した提案書の得点）についても日本FP協会に登録されます。受講者登録をされますと13桁の受講者番号が採番され、受講者番号に基づき修了状況を協会が確認いたします（協会への登録に同意いただけない場合、受検資格の取得、 AFP登録はできません）。

### 受講者情報の利用目的

● AFP認定研修の受講・修了確認（資格認定時に教育要件を確認） ● 「2級FP技能検定」における受検資格の照会 ● その他当協会の適切な事業範囲における利用  
※日本FP協会に登録された情報は、「個人情報保護方針」に則り適正に取り扱いをいたします。

# 2級FP技能検定・CFP®資格審査試験 (AFP資格審査試験)



## 2級FP技能検定(AFP資格審査試験)

実施方式 CBT試験

試験日 通年実施(休止期間を除く)

試験科目	学科試験	実技試験(資産設計提案業務)
A ライフプランニングと資金計画	①関連業法との関係及び職業上の倫理を踏まえたファイナンシャル・プランニング	①金融資産運用設計
B リスク管理	②ファイナンシャル・プランニングのプロセス	②不動産運用設計
C 金融資産運用	③顧客のファイナンス状況の分析と評価	③ライフプランニング・リタイアメントプランニング
D タックスプランニング	④プランの検討・作成と提示	④リスクと保険
E 不動産		⑤タックスプランニング
F 相続・事業承継		⑥相続・事業承継設計

出題形式(合格基準)  
学科試験:多肢選択式60問 36点以上(60点満点)  
実技試験:多肢選択式及び記述式40問 60点以上(100点満点)

受検資格  
下記①～③のいずれかの条件が必要となります。  
① AFP認定研修の修了者  
② 3級FP技能検定、または金融専門技術審査3級の合格者  
③ FP業務に関し、2年以上の実務経験者

受検地 全国

受検手数料 学科試験5,700円(非課税)、実技試験6,000円(非課税)

受検申請方法 インターネット



## CFP®資格審査試験

実施方式 ペーパー試験(マークシート形式)

試験日 6月・11月(年2回実施)

試験科目  
6課目(課目ごとの受験可)※3課目ずつ2日間にわたりて実施  
①金融資産運用設計  
②不動産運用設計  
③ライフプランニング・リタイアメントプランニング  
④リスクと保険  
⑤タックスプランニング  
⑥相続・事業承継設計

出題形式  
四肢択一式  
各課目50問(各課目120分)

受験資格  
 AFP認定者  
もしくは、日本FP協会が指定した大学院で所定の課程を修了した方  
※なお、 AFP認定者から協会の一般会員に移行した場合や退会した場合は、受験資格がなくなり、CFP® 認定者として失効となります。

受験地  
24地区  
札幌、仙台、水戸、宇都宮、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、金沢、松本、静岡、名古屋、京都、大阪、松江、岡山、広島、高松、松山、福岡、熊本、那覇  
同一都道府県内で受験地となる都市が変更になる場合があります。

受験料  
1課目 6,600円(税込)  
※2課目以上の出願時は、1課目ごとに3,300円(税込)が受験料として加算。  
※今後の税制改正等に伴い、受験料が変更となる場合があります。

出願方法  
会員ホームページ「Myページ」又は願書(書面)での出願  
願書(書面)出願は2026年度で終了です。

## AFP・CFP®資格の登録プロセス

### AFP資格

AFP認定研修の修了  
+  
2級FP技能検定に合格(兼 AFP資格審査試験)

AFP資格登録期限内に登録申請※1  
(日本FP協会が定める会員倫理規程等を順守する旨の誓約を含む)

### AFP認定者

2年ごとの資格更新  
15単位  
(FP実務と倫理1単位以上を含む3課目以上)

### CFP®資格

AFP認定者  
 CFP®資格審査試験全6課目に合格

CFP®エントリー研修の修了  
+  
実務経験(3年以上)の申請

CFP®資格登録申請※2  
(日本FP協会が定める会員倫理規程等を順守する旨の誓約を含む)

### CFP®認定者

2年ごとの資格更新  
30単位  
(FP実務と倫理2単位以上を含む3課目以上)

### 資格認定会員

- CFP®・AFP認定者  
入会金 10,000円  
年会費 12,000円

※CFP®認定者は新規登録料5,000円及び別途、CFP®会員年間8,000円が必要  
※上記の入会金及び年会費等は課税対象外  
※学生割引制度もあります

### 一般会員

- 協会の目的に賛同して入会する個人  
入会金 10,000円  
年会費 12,000円

※上記の入会金及び年会費は課税対象外  
※学生割引制度もあります

### 法人賛助会員

- 法人賛助会員の制度もございます  
※法人賛助会員制度の詳細は協会ホームページでもご確認いただけます  
「トップページ」→「法人・行政機関の方へ」→「法人賛助会員・認定教育機関とは」



### CFP®エントリー研修

※試験ではありません

- CFP®資格審査試験全6課目に合格した方を対象に「通信研修(eラーニング)」で実施します。  
※詳細は協会ホームページをご確認ください。

受講料 無料

年2回、CFP®資格審査試験発表後に実施

CFP®認定者に求められる倫理・コンプライアンスや実務経験の基礎となるFP実務の6ステップを通信研修(eラーニング)で学習

受講期間中に会員ホームページ「Myページ」から受講